

夫の地域デビュー・10のコツ

①	退職後、すぐに働きかけを 調査によれば、退職後一年以内に地域デビューすれば定着するという。この一年を素通りすると、その後なかなか地域参加へ踏み出せない。大末さんの場合は、地域へ戻ってすぐに隣組長の仕事を張り付けた
②	夫婦で一緒に 地域に溶け込めない夫の場合は、まず奥さんが加入しているグループに入ることから地域デビューするという方法がうまくいっている。と言っても、家にいてもグループに居ても夫と一緒にではたまらない。もう一つ、夫の自立推進のために、別のグループに夫だけを入れるのが良いようだ
③	妻だけでなく第三者からの働きかけも 大末さんの妻だけでは、夫の地域参加はあまり発展しなかった可能性がある。妻と共に、男性の地域デビューに熱心な人が、からめ手から夫をプッシュしてくれたからうまくいったのではないか
④	先陣の夫が他の夫を誘う 既に地域デビューを果たした男性が、他の男性を誘うという形で男性の地域デビューが発展している。その場合も夫婦一緒に参加もうまくいった理由かもしれない。収穫祭と言う、だれにも親しめる入り口を設けたのもよかった
⑤	多様な入り口を用意 このご近所ではただ収穫祭だけでなく、ゴスペルの会や下校ボランティア、ヨガ、カラオケなど、様々な入り口を用意したため、その中の好きな入り口を選ぶことができている。男性の場合、自身の趣味や好みに合ったテーマでないと馴染めないということもある
⑥	ご近所圏域を大事に まず、同じご近所で出会う人たちと交流する方が入りやすいのではないか。彼らは同じご近所で、犬の散歩などで出会っているはずで、その縁をいかしてやればスムーズに参加できるのではないか
⑦	初めはシンプルな参加を 収穫祭に、各自が持ち寄り、しかも夫婦一緒に参加するのならたやすい。そうした単純な参加を繰り返した後に、だんだんと本格的な活動に踏み出してもいい

⑧	<p>まず一人が始める</p> <p>男性が何人集まったらグループで一斉に地域デビューと言った発想では、なかなか一步を踏み出せない。とにかくまず一人が地域デビューを実践してみる。それを見て、次はだれとだれを誘うかという風に広げていけばいい。ここでは大末さんがまず一步を踏み出し、彼の働きかけで収穫祭に何人かのペアが参加するというように、少しずつ広げて言っているのが無理がなくいい</p>
⑨	<p>妻たちでデビュー支援ネットワーク</p> <p>ご近所内の妻たちがネットを組んで、ご近所内の夫たちを地域デビューさせようとしている。わずか50世帯の小さなご近所でその中の妻たちが手をつなげば、その機運も生まれてくるはずだ</p>
⑩	<p>気になる人に気を配るご近所に</p> <p>夫の地域デビューに留まらず、このご近所が、足元の気になる人たちに連携して関わろうとしている。しかも世話焼き達だけで関わるのではなく、例えば隣組長を含め、隣人たちにも関わってもらおうとしている。そうした、要援護者たちへの気配りの延長に夫の地域デビューと云う新しいテーマが出てきた</p>